



とつか

2022年10月会報 第336号

- 2022 国際会長(IP) Samuel Chacko (Indea)
 主 題 “Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT”
 「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
 スローガン“BEYOND SELF and BE THE CHANGE” 「自己を超えて、変化を起こそう」
 アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen (Taiwan)
 ~ 主 題 “Elegantly Change with New Era” 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
 スローガン“Doing It Right Now” 「今すぐ実行を」
 東日本区理事(RD) 佐藤重良 (甲府 21)
 2023 主 題 “Let's act now for the future” 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
 スローガン“Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!”
 「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
 湘南・沖縄部部長(DG) 小松仲史 (厚木)
 主 題 主 題 「楽しく・元気よく・前向きに」・副 題: 入りたくなるワイズにしよう
 クラブ会長 吉原 訓 会長主題「原点回帰」
 副会長 若木一美・書記 加藤利榮・会計・岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



《会員ひと言》

☆ 寄り添う姿勢 ☆

◎ 今月の聖句 ◎



岡 進

先日、日本在住のウクライナの方と話す機会があった。鎌倉YMCAのイングリッシュセミナーでスピーチをしていただくための事前打合せ。彼女は言語教育を専攻し、ウクライナ東部の大学でウクライナ語を教えていたらしい。不思議に思ったが、ソ連統治時代には公用語がロシア語だったので、ウクライナ語をきちんと読み・書きできない人もいるからとのこと。また原発で問題になったザポリージャは、コサックの本拠地だったらしく、ウクライナの人々にとっては思い入れのある場所だとか。現職の大統領についても、国民は様々な意見を持っているらしい。セミナーでは何百年にもわたるロシアとの歴史的な関係についても、さわりを話していただける予定…。

今回、私には知らないことがとても多いことを再認識した。「寄り添う」という言葉をよく耳にするが、相手のこともよく知らずに、そう簡単に口にはできないように思う。そのことを認識した上で、なお「寄り添おう」という姿勢が大切なのではないかと思えます。

ワイズの皆さんはいかがお考えでしょう。

世も世にある欲も、過ぎ去って行きます。

しかし、神の御心を行う人は永遠に生き続けます。

—ヨハネの手紙1 第2章17節—

世の中が不況であればあるほど、多くの人はおカネの方に目を向けがちになります。でも、本当の幸せ、心の満足はおカネではつかめません。おカネが人間を滅ぼし不幸にした例が他にも沢山あることは皆さんもよくご存知、‘お金は良い召使であるが 悪い主人でもある。’と。

強調月間
BF・TW22・STEP

TW22 Towards2022 を迎えた今年、ワイズの発展・拡大の目標が「100か国にクラブづくり・会員数50,000人以上に増員」を掲げて活動中です…。その取り組みに際しての正式名称は、“Towards2022&Beyond” と称されている。「2022年とその先に向けて」テーマのもと、以下の特別委員会で活動を展開中です。
 名称：Change!2022 推進委員会(栗本治郎委員長)

会員数		9月の会合		出席率	ファンド	B	F	B	F	CS・TOF・A S F	B A P Y	ロ	バ
メ	ン	メ	ン	%	他	(円)	(g)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)	(円)
11	7	92%											
メネット	8	メネット	1										
		ゲストら	0										
計	19	合計	8										
					前月迄		0		0		0		0
					当 月		0		0		0		0
					累 計		0		0		0		0

★強い義務感を持つとう 義務はすべての権利に伴う★



日時：9月20日(火)18時～20時
 場所：湘南とつかYMCA・1階ホール
 出席者：浦出・加藤・薩摩・鈴木・瀬戸・若木・吉原・吉原メネット 計)8名
 コロナも収束に近いムードの中での久方ぶりの対面例会、席上、スナック菓子と飲み物も

配られ、別の委員会に出席の岡氏とご都合でやむなく不参加の有田・土方・柴原の4名の方を除き、一方、会員で当YMCA館長の薩摩藤太さんを卓話者に迎えての例会でした。

例により、加藤書記の司会で始まり、開会点鐘・開会の祈り・会長挨拶とプログラムは進み、いよいよ、本題の卓話に…。

テーマは「館長になって6か月を過ぎて」、席上、8ページからなるレジメも配られ、30分にわたりお話がありました。

コロナ禍による仕事上の閉塞感、今後とも元には戻らない、キャリア3年以内のスタッフ・リーダーは「コロナ以前」を知らない…などの影響、またヒトのことで、高齢化・次世代育成は「待ったなし」に…。働き方の変化・多様化、外部との人のつながりや顔の見える関係、ネットワークの再起動を…。

施設・備品関係の面では、設立28年目に伴う老朽化、修繕費の高騰、光熱水費の高騰、防災への備え、また、財政関係では、現状維持のためのコスト、新たな社会ニーズに応えるための投資に必要なコスト等々。一方で、地域とのつながりや課題、担い手の育成等がある。終わって質疑・懇談が活発に行われた。

新名簿の配布や2, 3の連絡の後、記念撮影があつて、次回10月18日(火)例会を確認、定刻に開会した。



☆第95回Y-Y's 協議会から☆ 加藤利榮

日時：9月6日(火)・19時～20:30
 場所：オンライン方式

湘南とつかYMCA401号室

出席者：吉原・若木・加藤の3名

金沢八景クラブ宮崎担当主事の司会で始まった標記協議会、開会礼拝のあと、



佐竹総主事から、日ごろ湘南・沖縄部の皆さんに、殊の外お世話になっているなどの、また小松仲史部長からもご挨拶があり、続いて、当番クラブの金沢八景クラブの山田一男会長の進行により協議に入った。

議題は、10月15日(土)にMM21地区で開かれるリアル大会と10月17日～31日にかけて行われるオンラインによる「第25回横浜YMCA国際ショナル・チャリティーラン」につき、今期事務局責任者の瀬戸俊孝主事から15分ほど要旨の説明がなされた。

次いで、報告では、YMCAから、① 8月5～7日に行われた第29回エイズ文化フォーラム ② 9月30日～10月2日に山中湖畔において開催されるユースボランティア・リーダーズフォーラムについて、発表・説明がありました。また9月23日(金・休)に開催予定のYMCAフェスタについては、コロナ禍の関係から、従来のビーチボールバレー大会にない

新しい形でのプログラムを計画中のことであった。

今回は12月6日(火)横浜つづきクラブの担当を確認して、定刻閉会となった。



☆‘横浜YMCAフェスタ’から☆ 若木一美

日時：9月23日(金・休)9:30～12時

場所：湘南とつかYMCA・1階ホール/ZOOM オンライン

参加者：YMCA会員を中心とする仲間たち就労センター 上記イベントが、横浜YMCA会員事業委員会(岡進委員長)の主催で開かれました。

以前は「ビーチボールバレー大会」が開催されていましたが、コロナで2年間お休みしている間に、新しい企画が検討され、2月11日の会員研修会とはひと味違った「横浜YMCAフェスタ～私たち会員の集い～」と題しての開催となりました。会場参加は60名程度に絞り、第1部は戸塚・就労支援施設アンジュの相馬館長と利用者さんによる日常の活動の様子が紹介され、その後SDGsを目指した新聞紙によるエコバッグ作りを体験しました。終了後、健康体操の後、国際プログラムの紹介を柳原職員が行い、引き続きウクライナから横浜に来られているカテリーナさんから、お国の様子や文化の異なる日本での生活等を語って頂きました。

定刻どおり、12時に佐竹総主事の閉会挨拶ののち、会場入口脇のスペースで、ウクライナ手作り人形やアンジュのパン、パヤオセンター・クラフトの製品販売等が行われているのを見学?して、横浜YMCAフェスタ たち会員のつどい～

三々五々引き揚げました。台風や雨が心配されましたが、曇り空の下ご挨拶を交わし会場を後にしました。



☆雀に学ぼう！危機管理☆ (その3)

湘南・沖縄部部长 小松仲史 (厚木)



私は、東京の新宿区で生まれ中野区東中野で育ちました。

一円札を使って駄菓子を買っていたころは、昼間から鍵を掛ける家はほとんどありませんでした。あちこちの路地や道路で思い切り走ったり、ローラースケートや自転車で遊びまわっていました。小学生2年の時にホッピングで3kmほど離れた幼稚園まで一度も降りずに行ったこともありましたが、当時はいつも6人から8人程度の仲間と遊びまわっていました。

確か、3歳ぐらいから中学生ぐらいまでの子どもたちがあちこちでグループになってお互いに面倒を見ていました。大人たちも、かなり寛容な処と危ない事をしている子どもたちをきちんと叱ったり注意をしたりが当たり前に出る環境がありました。また買い物途中で井戸端会議と呼ばれお母さん方が立ち話をし、八百屋さん・魚屋さんら商店の人たちとおしゃべりをしたりして、ご近所同士のお付き合いが当たり前であり、ちょっと醤油が足りない・味噌を切らしている…といったお隣に借りにいったりしていました。

そこには「今」とは比べものにならないほど「大人の日」があったのです。

当時、私は夜7時には寝ていました。商店もデパートも早いところで夕方6時ごろに閉店し、スーパーやコンビニなどもない頃でした。各家庭では夕方に夕食を頂き、子どもたちが夜、出歩くことはほとんどなかったと思います。

「今」はどうでしょうか…。コンビニは24時間が当たり前、大型スーパーは夜11時まで営業、一方で、気軽に行ける商店はめっきり減り、一方で井戸端会議はなくなり、子どもたちの姿さえあまり見掛けなくなりました。お陰で知らない大人たちから注意される機会がなくなり、うっかり声を掛けようものなら、「変なおじさん」と警戒される世の中になりました。

子どもの安全を守る立場にある大人たちにとっては、それこそ由々しき一大事です。(以下次号)

《アンジュ通信》

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬 良文

9月23日(金・休)に開催されたYMCAフェスタにワークサポートセンターのメンバー5名と参加しました。

同センターでの活動についてインタビューを行い、利用者の生の声を会員の皆様にお伝えする機会となりました。

非常に緊張していたので、普段の半分も話せなかったという感想と、人前で自分の意見を発表できた達成感を感じていました。



参加者の大きな自信につながったことに感謝するとともにこれだけ多くの方々にお支えいただいていることを実感できた一日となりました。

沖縄だより

☆ 月の出を待つ… ☆

元沖縄那覇クラブ会長 屋良 政旦



拝啓 皆様ご健勝ご活躍のことと思います
早いもので 当クラブが解散して一年が過ぎました。皆様にはお心遣いご迷惑をお掛け致しました。ご容赦いただきたいと思ひます。

当クラブはローカルクラブとして、現在6名で月一回の例会を持っております。沖縄YMCAのためにだけ活動しております。

YMCAにおける役割は、長嶺将邦氏が理事(兼理事長代行・常勤)、比嘉善彦氏は理事(週一出勤)、呉屋良文氏は学童の送迎係、玉城哲人氏と屋良政旦は評議員として関わっています。YMCAをサポートするために、例会ではモアイ(頼母子講のような内容)をし、一人1万1千円を出し合い、その内から千円をYMCAに寄付しています(年間7万2千円)。

ワイズの情報は、佐藤節子さんからlineで入ってきます。沖縄クラブが西日本区で受け容れられていないことなど…。沖縄クラブのホームページを覗いたら作動しませんでした。私の遊びで、月の写真を東西のワイズ15名にlineで送っていますが、結構反応があり、楽しいですよ…。

毎日、軒下でビールを飲みながら月の出を待っています。皆様のご健勝を、南海の沖縄からお祈りしております。

2,022年9月20日

敬具



☆ オキナワ関係懇談会から ☆ 加藤 利栄

2回目に当たる標記会合が9月23日の午後、湘南とつかYMCA近くのレストランで開かれました。前回12月の集い以来の会合です。座長の若木さんを始め久保・浦出・菅沼(元横浜クラブ会員)諸氏のほか新たに鈴木茂・佐藤節子のご両名も加わり、私を含め7名が顔を合わせました。

当日決まった事柄は、『明年1月29日(日)~30日(月)に現地訪問することとしては…。』ということ、その諸連絡については『加糖に一任』ということで、話がまとまりました。

『さあ また少し忙しくなるぞう…。』という思いも新たに家路につきました。

～ 当面の日程・諸行事について～ 瀬戸俊孝



当面の諸行事とYMCA活動へのご協力方について、以下のとおりお知らせとお願いです。

1) 10月15日(土)第25回インターナショナルチャリティーラン：当日ボランティアで各クラブから2名の方をMM21地区現地にお願ひしたい。

(とつかクラブは、吉原会長・浦出ご夫妻の3名が参加予定)

2) 11月3日(木)・休YMCA・い〜とつか祭のボランティア特に人数制限はありません。(当日のご参加大歓迎)

10時から14時くらいの予定です。

3) 今後のYMCAとの協働活動

ア 湘南とつかYMCAリーダー会との定期的合同ゴミ拾い
イ 「フードドライブ」活動への協力

4) 他クラブ・イベントへの協力

ア 今回は、横浜つづきクラブが主催するチャリティーコンサートのチケット10枚をクラブとして購入します。

イ 11月3日販売予定の「パヤオクラフト」や国際協力募金への協力。支援

5) 次回例会：10月18日(火) 18時～湘南とつかYMCA

◎ 10月15日(土)9時～チャリティーラン・MM21

◎ 10月18日(火)18時～第1例会・湘南とつかホール

◎ 10月22日(土)15時～部大会・湘南とつかホール
出欠等については、その都度、瀬戸担当主事から確認させていただきます。

Happy Birthday

若木祥子メネット 9日

有田美幸メネット 11日

☆ トピックス ☆

(その一) ワイズ情報の掲載方について

先ごろ、佐藤区理事・栗本治郎 Change! 2022 委員長ご両人名義で、ワイズの情報をYMCA機関誌に掲載する件で全国のYMCAにお願ひし、了承された旨の連絡がありました。これはYMCAにとっても必ずや相乗効果が期待できるものと確信します。ヨコハマの場合はすでに2010年1月以来「月刊横浜YMCAニュース」に「ワイズコーナー」が設けられ、「7クラブ持ち回り」で掲載されております。

(その二) 日本YMCA同盟の横山由利亜さんのこと

先だつての朝日新聞・夕刊に、YMCA同盟・ウクライナ避難者支援担当スタッフの横山由利亜さんがご本人の写真とともに「ウクライナ被災者を支える思いは」の見出しでほぼ1面を埋めた記事が載っていました。

ご覧になった方も多いと思いますので、ここでは田口同盟総主事からの「添え書き」がメールに入ってきましたので、ご参考までに…。「…全国のYMCA会員の皆さんの募金が用いられた具体的な動きが継続されていることを、この記事を通じてご理解いただければと思います。」

(その三) BF代表の受入れ方の依頼について

氏名：Roxana Esther Mestas Bolonos (女性)

ペルー人・ご夫君帯同・英語

受入れ：11/5(土)・八王子駅出迎え～6日(日)

要綱：お出迎えからお見送り(新横浜駅)までを担当

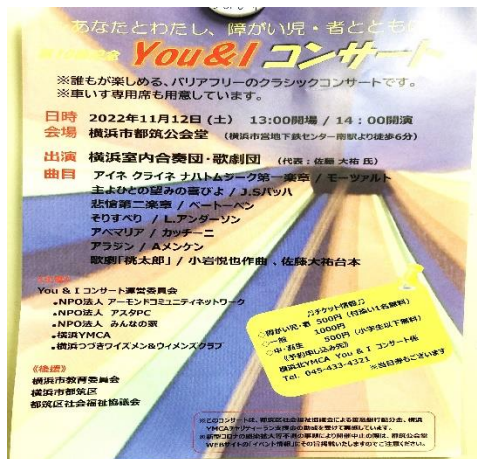
問合せ：小松部長までメールまたは電話で。

(その四) 会員名簿の配布について

今期7月1日現在の東日本区会員名簿を配布中です。ご覧いただき、誤植等がありましたら書記までお申し出ください。

〈後記〉

近頃は、もっぱらキョウイクとキョウヨウの毎日です…。



【今月の歳時記】 “薄、芒 すずき・紅葉 もみじ”

薄：秋も九月を過ぎると、黄褐色もしくは紫褐色の花穂を出す。この花穂が獣の尾に似ているので「尾花」という。秋の七草の一つとして知られ、またお月見には欠かせない。丘や堤の上に株をなして生えているのもいいが、野一面、山一面を蔽って茂り、風に吹かれてなびき光るのは壮観。

山は暮れ野は黄昏の芒かな 蕪村
夕闇を静まりかへる芒かな 暁台
折りとりてはらりと重き薄かな 蛇笏

紅葉：秋になると、落葉樹は赤・黄・茶色などに色づく。その種類は多いが、中でも鮮麗なのが楓(かえで)である。一般に新緑に優れた土地は紅葉にも優れている。秋も深まり霜が降りるようになると、紅葉は一段と鮮やかさを増す。

大寺の片戸さしけり夕紅葉 一茶
何も居ぬ紅葉おのれをにぎやかに 竜太
考えることやめし樹よ紅葉して 寿美子